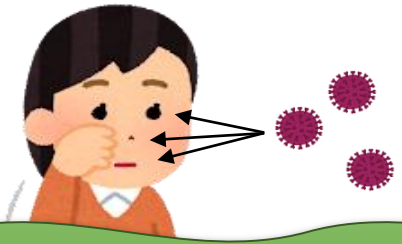
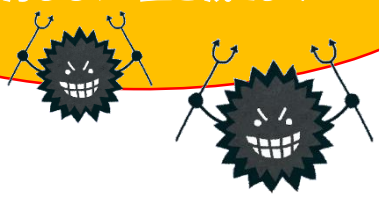
新型コロナウイルス感染症の予防について　学校版

1.新型コロナウイルスの感染経路

新型コロナウイルスを含む**飛沫**又は**エアロゾル**（更に小さな水分を含んだ状態の粒子）を吸入するか、ウイルスが**目**や**鼻**、**口**に直接的に接触することにより感染します。



新型コロナウイルスは72時間
感染力をもって生き残ります！



1時間に平均23回無意識に顔を触っていると言われています
そのうち目、鼻、口の粘膜は44％を占めています

マスク着用と消毒が大切です

2.感染拡大の予防を！

濃厚接触者の定義

1m以内、マスク等感染対策なしで
15分以上の接触

飛沫は会話で1m、咳で3m、くしゃみで5m飛びます

新型コロナウイルスの潜伏期間は7日間と言われています。この期間は自宅療養と健康観察のご協力をお願いしています。また、10日間を経過するまでは、検温など自身による健康状態の確認やリスクの高い場所の利用や会食等を避け、マスクの着用等の感染対策をお願いしています。

感染リスクが高い場面

- 会話をしながらの飲食
- 体育の授業で接触のある競技
- 部活動や部室･更衣室で長時間の会話
- 文化祭や体育大会等の大人数が集まる行事
- 相談室等の不十分な換気での空間
- 学校の寮やスクールバスの環境
- 音楽の授業での合唱、リコーダーの実施

第五波で多く見られたリスクの高い場面3選

①黙食が徹底できていなかった
②部活の合宿･遠征や行事の準備などで集まる
③学校外での交友、友人宅でのお泊り会などで集まる

3.授業中・休み時間・登下校時もマスクは正しく着用を！

・隙間がないように密着させ、鼻・顎がしっかりおおわれるように着用しましょう
※鼻マスク・顎マスクは感染症対策として効果がありません

○マスクの種類別効果○（飛沫のカット量）

種類	不織布	布	ウレタン	フェイスシールド	マウスシールド
吐き出し	80％	66～82％	50％	20％	10％
吸い込み	70％	30～45％	30～40％	効果なし	

4.正しい消毒方法を実施しましょう

○１回量の消毒液を手に擦り込むように使用しましょう
ＮＧ：手を振り乾燥させると効果がありません

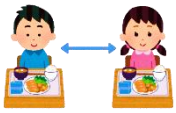
○消毒場所と頻度
手指：登下校、移動教室、昼食、トイレの前後
モノ：教員や生徒がよく触れる場所はこまめに消毒をしましょう
※スプレーで吹きかけるだけでなく、ふき取りも行いましょう
（消毒する場所の例）

パーテーション　ドアノブ　手すり
電気のスイッチ　机　など

厚生労働省
消毒液の作り方　参考ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000645359.pdf

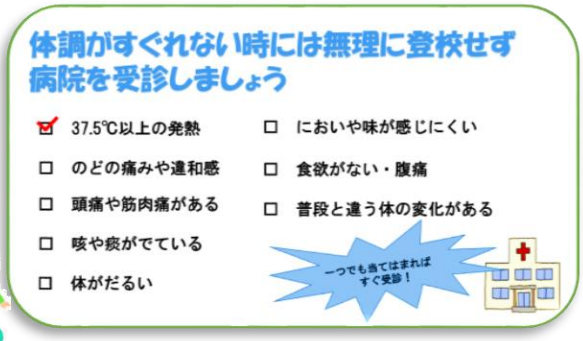
5.日ごろの感染対策のまとめ

日頃の感染対策



登校前には体調確認を！
•鼻まで覆い、隙間のない様マスク着用する！
•できるだけ2m、最低1mの距離をとる！
•食事の時は一方向で黙食を徹底！マスクをつけて会話を！

手洗い・消毒（ex.飲食前、登下校、移動教室）
•1時間に2回の換気をしましょう！
•学校外でも同様の感染対策をしましょう



飛沫等の「富岳」による研究動画
理化学研究所　計算科学研究センター
https://www.r-ccs.riken.jp/fugaku/history/corona/projects/tsubokura/

大阪市新型コロナウイルス感染症一般相談センター（0120-911-585）
大阪市保健所　感染症対策課　集団調査チーム
令和4年1月28日作成